

# 《令和7年第4回大空町議会定例会一般質問通告内容集約書》

【5名6件】

〔令和7年12月10日整理・大空町議会事務局〕

質問日	順	質問者	質問事項	頁
12月17日 (水曜日)	1	上地 史隆 議員 (質問時間 30分)  質問受付： 令和 7年12月 9日 午前 8時50分	1. 金融教育の取り組みについて 2. 女満別ゴルフコースの存続について	1
	2	鈴木 秀之 議員 (質問時間 30分)  質問受付： 令和 7年12月10日 午前11時20分	1. 未来を拓く地域医療の充実について	2
	3	後藤 忍 議員 (質問時間 30分)  質問受付： 令和 7年12月10日 午後 3時50分	1. 女満別地区への良質な水道水を供給する事業の進捗状況について	4
	4	福田 淳一 議員 (質問時間 30分)  質問受付： 令和 7年12月10日 午後 4時30分	1. 人口減少に伴う今後の考えについて	5
	5	齋藤 宏司 議員 (質問時間 30分)  質問受付： 令和 7年12月10日 午後 4時45分	1. 町政運営について	6

※ 一般質問は「一問一答方式」にて、通告順により行われます。

※ 傍聴席入口に掲示の傍聴規則を順守の上、携帯電話の電源はお切りくださるよう御協力をお願いします。

※ 御不明な点などがありましたら、議会事務局までお問い合わせください。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問相手
1. 金融教育の取り組みについて	日本は他の先進諸国に比べ金融教育が遅れていると言われており、国民の金融リテラシーに課題があるとされています。学習指導要領の改訂により2022年4月から小学校・中学校・高校での金融教育が必修化されましたが、学校でどのような取り組みを行っているのか現状を伺います。	教育長
2. 女満別ゴルフコースの存続について	女満別ゴルフコースの存続について、議会でも国や道に対して意見書や企業に対して決議を行い、また、2万8千余りに上る署名をいただき、町と共に企業に対して要望書を提出していますが、その結果に基づき今後どのように進めていくのか町の考えを伺います。	町 長

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問相手
1. 未来を拓く地域医療の充実について	<p>人口減少や高齢化が進行する中で、今後益々、在宅医療の需要増加が見込まれます。</p> <p>地域の実情に応じた医療体制の整備を進め、安定的かつ持続可能な医療等を町民に提供するために大空町医療計画が令和5年度に策定されています。</p> <p>計画期間は、令和6年度から11年度までの6か年間で、現在策定作業が進められている第3次総合計画の中にも反映されている一つと認識しています。</p> <p>住み慣れた地域や自宅での生活を支える地域医療の充実に向けて次の事項について伺います。</p> <p>(1) 医療機関への支援充実について</p> <p>東藻琴診療所において、救急現場担当者と医師がリアルタイム映像伝送システムを活用し搬送者状況等の情報を共有する実証実験が実施されています。</p> <p>地域住民に寄り添った診療所の先進的な取組に対する今後の支援についての見解を伺います。</p> <p>(2) 救急医療、救急搬送体制の確保と情報提供について</p> <p>救急医療体制の確保は、住民の安心・安全確保の基盤をなすものです。</p> <p>過疎地域と位置付けられている本町の地域特性の関係で地元の「かかりつけ医、初期医療機関」と中核的病院との適切な役割分担と連携により救急医療体制の確保がなされています。</p> <p>救急搬送体制の現状と充実施策並びに町民への救急救命に関する情報提供状況について伺います。</p> <p>(3) 通院困難者対象医療、看護体制の充実について</p> <p>東藻琴診療所は、在宅療養支援診療所として在宅ケアの拠点としても役割を担っていただいています。</p> <p>今後、在宅療養支援の需要の高まりが予想されていますが、町内には、在宅医療を担う訪問看護ステーションがなく、広域での連携強化が課題です。</p> <p>現状と今後の関係医療機関相互連携の強化について伺います。</p>	町 長

	<p>また、歯科診療においては、訪問診療の要望も出て来ていると聞いています。要望把握と診療体制整備に対する支援策について見解を伺います。</p> <p>(4) 地域医療充実のための財源確保について</p> <p>遠隔医療に関する補助、交付金制度について、北海道、総務省、厚生労働省等から情報が出ています。</p> <p>本町に適した情報収集に努めると共に町独自財源である基金の活用を検討していかなければならないと思います。</p> <p>今後の地域課題解決に向けた施策展開と財源確保に関する見解を伺います。</p> <p>(5) 町民への情報活用に関する学習機会提供について</p> <p>大空町の地域特性上、情報機器を活用した救急救命に関する安心・安全確保情報を獲得することが有効な手段です。</p> <p>本町の医療情報通信技術活用推進という観点から現時点での取り組み状況と今後の事業展開について伺います。</p> <p>(6) 医療提供現場と行政との連携について</p> <p>政策・施策目的の共通理解に基づく事業連携は、より効率的な行政運営につながります。</p> <p>医療機関と行政担当者との連携協議の現況と現場の声を反映した施策展開状況について伺います。</p>	
--	--	--

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問相手
<p>1. 女満別地区への良質な水道水を供給する事業の進捗状況について</p>	<p>大空町の水道事業は、安全・安心な水の確保と安定供給のために、管路整備や維持管理を行っていますが、女満別地区と東藻琴地区では水源水質が大きく異なっています。東藻琴地区の水源水質は非常に良好であり滅菌処理のみで配水しているのに対して、女満別地区の昭和浄水場では使用している3本の井戸の内1本の井戸の水質があまり良くないため、多くの薬品を使用し浄水処理を実施している状況です。</p> <p>現在、女満別地区へ良質な水道水を供給するため、網走市と水道事業の広域連携について協議を進めていますが、事業の進捗状況について伺います。</p> <p>(1) 女満別地区と東藻琴地区の給水人口および有収水量の現況と今後の見通しについて伺います。</p> <p>(2) 水道事業アセットマネジメント策定を行った結果による総括の内容について伺います。</p> <p>(3) 網走市と行っている水道事業の広域連携の概要について伺います。</p>	<p>町 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問相手
<p>1. 人口減少に伴う今後の考えについて</p>	<p>社人研推計（2020年基準）によると、5年ごとに500人程度減少していく推計となっています。</p> <p>現実、人口が減少していくことが考えられますが、如何に減少幅を少なくしていくのか、現在のどこを重点課題と捉えているのか伺います。</p> <p>（1）現時点において、この町に必要なのは何だと考えていますか。</p> <p>（2）働く場所の確保は考えていますか。</p> <p>（3）基幹産業である農業関係を中心に担い手を後継者だけではなく、町外からの移住者において農業人口を増やしていく様な施策の考えはありますか。</p>	<p>町 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問相手
1. 町政運営について	<p>令和4年4月に町長に就任されて以来、3年8ヶ月にわたり町政運営のかじ取りをされてきました。</p> <p>この間、様々な事業に取り組まれてきていますが、町政の課題は尽きなく、今もなお多くの課題等を抱えていると思います。</p> <p>事業の継続と大空町のさらなる発展のため、引き続き町政運営を担われることを期待する一人ではありますが、現段階における今任期の町政運営について伺います。</p> <p>(1) 1期目の総括について</p> <p>町長の1期目の選挙公約「目指すまちづくりの方針」みんなの心を合わせつくる思いやりあるまちとして、次の「政策の3本柱」を掲げています。</p> <p>① 次代を担う教育の実践と学び続けられる環境の充実  ② 足腰の強い産業の創出  ③ 思いやりのある福祉の実現</p> <p>1期目におけるこれら政策3本柱の成果、達成状況について伺います。</p>	町 長